

「ブラウザからアプリケーションサーバの利用」サービスについて

本サービスは、IE などの Web ブラウザソフトを使い、アプリケーションサーバ(malt1~3)のファイル操作、導入アプリケーション(GUI, CLI)の利用、CPU/メモリ状況表示、プロセス管理を行う事ができます。

【機能】

- ・ファイル操作 : ファイルの作成・複写・移動・削除・編集・ファイル転送
- ・アプリケーション利用 : ボタンによるアプリケーション起動、サーバのエミュレート
- ・CPU/メモリ状況表示 : 指定年月におけるサーバの CPU やメモリ負荷状況を表示
- ・プロセス管理 : 自身のプロセスの確認や削除

【動作環境】

OS : Microsoft Windows 7 (8以降の OS は未確認)

ブラウザ : Internet Explorer 8.0 以降
Mozilla Firefox 3.6 以降

Java 環境 : 使用するブラウザに適したバージョンの Java が導入されているか、以下 URL で確認願います。
<https://www.java.com/ja/download/installed.jsp>

【サーバ別 導入アプリケーション一覧】

サーバ名	利用制限	アプリケーション名
malt1	学内利用	Amber, AVS/Express Developer, COMSOL Multiphysics, Mathematica, Gaussian, MATLAB, Marc, Marc Mentat , MSC Nastran, Patran
malt2	学内利用	Amber, ANSYS, AVS/Express Developer, COMSOL Multiphysics, Fluent, Gaussian, Marc, Marc Mentat , Mathematica, MSC Nastran, Patran
malt3	学内・学外利用	Amber, AVS/Express Developer, COMSOL Multiphysics, Gaussian, LS-DYNA

【利用方法】

1. サービスログイン

情報基盤センター北館トップページ 計算機システムブロックにある「[ブラウザからアプリケーションサーバの利用](#)」をクリックすると、本サービスのログインページが表示されます。

北海道大学 情報基盤センター
アプリケーションサービス

利用者番号:

パスワード:

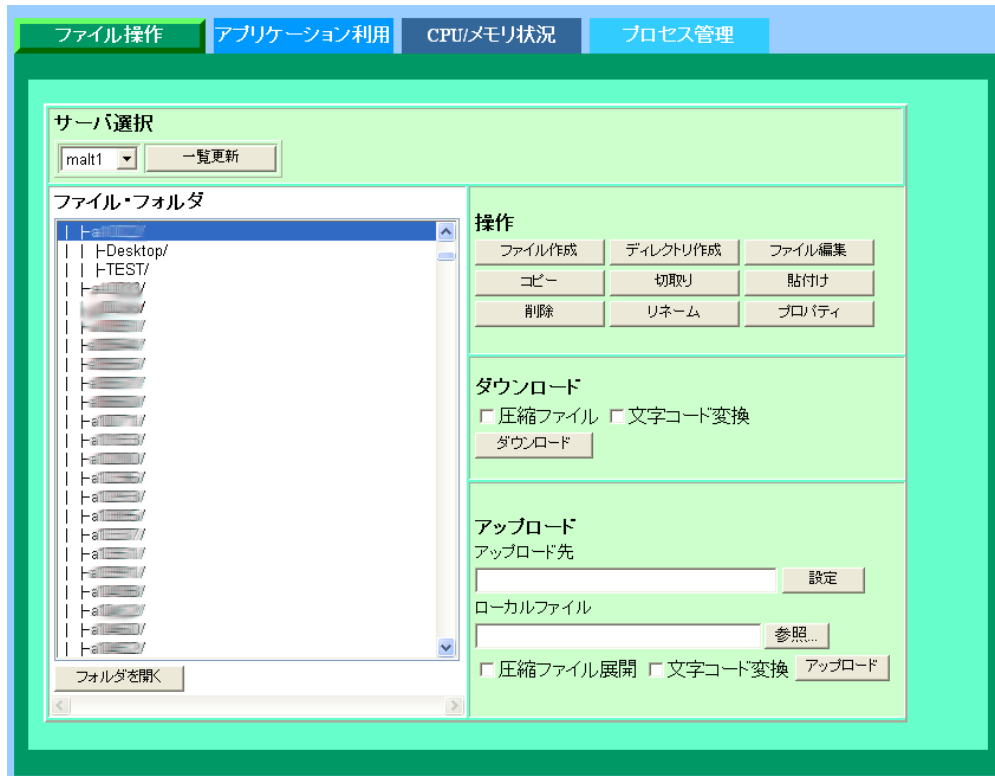
ログイン クリア

利用者番号 : 本センター大型計算機システムにログインするための利用者番号を入力

パスワード : 本センター大型計算機システムにログインするためのパスワードを入力

2. ファイル操作

本サービスにログインすると、「ファイル操作」ページが表示されます。



ファイル操作については、以下の手順で行います。

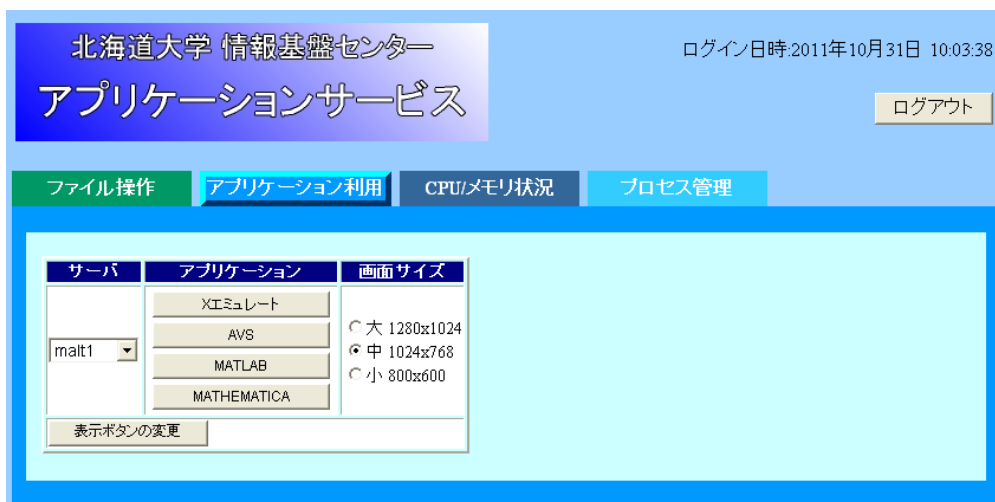
- ① ページ左上の「サーバ選択」で操作対象のサーバを選択します。
- ② 操作対象のファイル or ディレクトリをページ左側の「ファイル・フォルダ」欄から選択します。
※ 複数ファイル・ディレクトリの選択はできませんのでご注意ください。
- ③ ページ右側の「操作」欄から実行する操作ボタンをクリックします。

なお、本ページにはアプリケーションサーバのファイルをクライアントマシンにダウンロードする機能や、クライアントマシンのファイルをアプリケーションサーバにアップロードする機能も用意されております。

3. アプリケーション利用

上部の「アプリケーション利用」タブをクリックすると、「アプリケーション利用」ページが表示されます。

※ 下図はサーバ malt1 を選択した場合の表示



アプリケーションの利用については、以下の手順で行います。

- ① 「サーバ」欄で利用するアプリケーションが導入されているサーバを選択します。
- ② 「画面サイズ」欄でご希望の画面サイズを選択します(デフォルトは“中”)。
- ③ 「アプリケーション」欄で利用するアプリケーションのボタンをクリックします。

なお、表示されるボタンの種類は、選択したサーバにより異なります。

malt1 : Xエミュレート, AVS, MATLAB, MATHEMATICA

malt2 : Xエミュレート, AVS, MATHEMATICA

malt3 : Xエミュレート, AVS

起動ボタンが用意されていないアプリケーションについては、引き続き以下の手順を行います。

- ④ ③で「Xエミュレート」ボタンをクリックしてXエミュレートツールを起動します。
- ⑤ Xエミュレートツールウィンドウの上部メニューバーから「アプリケーション」→「アクセサリ」→「GNOME 端末」を選択し、GNOME 端末を起動します。(下図参照)
- ⑥ GNOME 端末のプロンプトから利用するアプリケーションの起動コマンドを入力して実行します。

なお、各アプリケーションの起動コマンドについては、[こちら](#)をご参照ください。



4. CPU/メモリ状況

上部の「CPU/メモリ状況」タブをクリックすると、「CPU/メモリ状況」ページが表示されます。

サーバ	日時	CPU利用率 (%)	ユーザ (%)	システム (%)	アイドル (%)	メモリ搭載量 (MB)	メモリ利用率 (%)
malt1	2011-10-31 10:30:01	0	0	0	100	131909	3
malt1	2011-10-31 10:20:01	0	0	0	100	131909	3
malt1	2011-10-31 10:10:01	0	0	0	100	131909	3
malt1	2011-10-31 10:00:01	0	0	0	100	131909	3
malt1	2011-10-31 09:50:01	0	0	0	100	131909	3

表示条件に、サーバ、対象年月、表示形式を選択し、更新ボタンをクリックします。

5. プロセス管理

上部の「プロセス管理」タブをクリックすると、「プロセス管理」ページが表示されます。

サーバ選択

malt1 更新

プロセス情報

UID	PID	PPID	C	STIME	TTY	TIME	CMD	操作
	6711	9999	0	10:03	?	00:00:00	/usr/local/hpsportal/bin/portalDaemon	終了
	9652	1	0	10:31	?	00:00:00	/usr/libexec/gconfd-2.8	終了
	9692	1	0	10:31	?	00:00:00	/usr/libexec/bonobo-activation-server --ac-activate --ior-output-fd=16	終了
	9757	1	0	10:31	?	00:00:00	/usr/libexec/gam_server	終了
	10447	1	0	10:32	?	00:00:00	Xvnc :1 -desktop malt1:1 (xemulate) - httpd /home/ /vnc -auth /home/ .Xauthority - geometry 1024x768 -depth 16 -rfbwait 30000 - rfbauth /home/ /vnc/passwd -rfbport 5901 -pn - DisconnectClients=0	終了
	10454	1	0	10:32	?	00:00:00	gnome-session	終了

対象のサーバを選択すると、そのサーバで起動中となっている自身のプロセス情報が確認できます。プロセスを削除する場合は、対象プロセス行の右側にある終了ボタンをクリックしてください。